



### 認知症への取組について

堀口 きく枝 議員



**質問** 2025年には65歳以上の5人に1人が認知症になると推計されています。

**答弁** 認知症の人が自身の尊厳と希望を持ちながら安心して暮らせる社会を作るための法律で、基本理念は

**要望** 地方自治体では努力義務である認知症施策推進計画の策定への取組を要望します。

認知症への正しい理解の普及、適切な保健医療、福祉サービスの提供、家族への支援、認知症の人を含む誰もが相互に支え合う共生社会の実現を掲げています。

**要望** 予防のために、高齢者を対象としたeスポーツの活用の推進とスマホを活用しウォーキングの歩数がポイント付与される健康アプリの推進を要望します。

**質問** 認知症の方への支援

**質問** 認知症予防への本市の取組について伺います。

**答弁** 老人福祉センターを会場に運動を中心とした元気はつらつひろばや脳トレが中心の脳活ひろば等、市内各所で住民主体の通いの場事業を行っています。

**要望** 予防のために、高齢者を対象としたeスポーツの活用の推進とスマホを活用しウォーキングの歩数がポイント付与される健康アプリの推進を要望します。

について伺います。

**答弁** 市内4か所の高齢者あんしん相談センターに認知症地域支援推進員を配置し相談に随時応じることや、初期の方への支援として、医師を中心とした多職種連携の認知症初期集中支援チームによる医療、介護などの適切なサービスにつながる取組と認知症カフェを毎月2回、老人福祉センターで開催しています。また、認知症の方や家族を見守る応援者を増やすために、認知

**質問** 放課後子ども教室の現状について伺います。

**答弁** 令和5年度現在、三野谷公民館・第七小学校、西公民館・第十小学校、渡瀬公民館・第九小学校の3地区で、放課後児童クラブとの連携により実施しています。放課後子ども教室の実施時間及び方法は二部制で行っており、第一部は学校の授業が5校時で終了する低学年の児童を主な対象とし、学校の宿題、自主勉強、自由遊びの見守りを行

症サポーター養成講座を開催しています。

**要望** 誰一人取り残すことのない社会の構築を目指し、特に独り暮らしの高齢者の方への支援の手を今後お願いします。

**質問** 本市の共生社会実現への展望を伺います。

**答弁** 認知症への理解が深まるよう周知啓発に取り組み、民生委員をはじめ、地域包括支援センターや警察、介護事業所等と連携し、支援体制の強化に努めます。



### 館林市第6次総合計画における子どもの健全育成の現状について

岩上 博志 議員



**質問** 放課後児童対策の現状について伺います。

**答弁** すべての小学校区に民間運営の17クラブ20支援を開設しており、受入児童数については、1支援あたり40人程度であり、現在の総数は844人となっています。各放課後児童クラブでは、児童の安全・安心

な居場所づくりに努めています。

**質問** 放課後児童クラブの待機児童の状況について伺います。

**答弁** 令和5年10月に実施した調査の結果では、待機児童はいませんでした。

一方で、利用希望が多い放課後児童クラブにおいて、

**質問** 保育料の軽減措置について伺います。

**答弁** 低所得者やひとり親の家庭を対象に、4つの項目を設け、月3000円を上限にした保育料の軽減措置を講じています。

**要望** 人材確保を早急にお願いしたい。

